

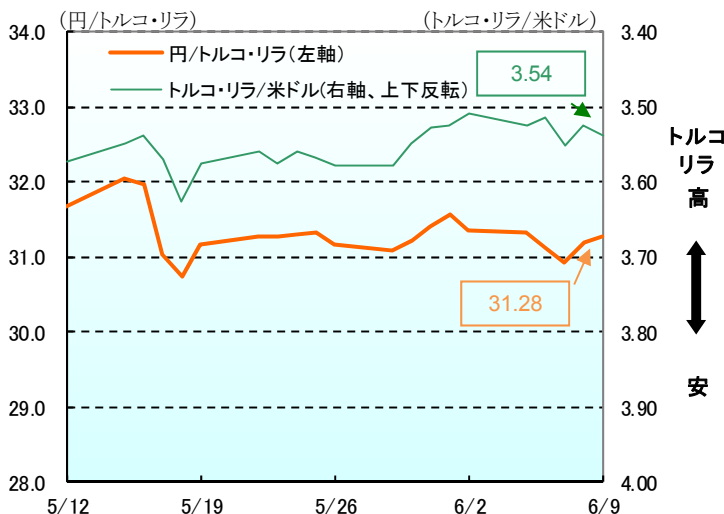
トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年6月3日～2017年6月9日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通してみると対米ドル、対円共にほぼ横ばいでの推移となりました。またトルコの2年国債金利については上昇となりました。5月の消費者物価指数は前年同月比で+11.72%とわずかながら前月から鈍化を見せました。先週、一部のアラブ諸国がカタールと断交することを宣言したことを受けて中東地域での緊張の高まりが懸念されたことなどが相場を動かす材料となりました。なお、トルコのエルドアン大統領はカタールのほか、サウジアラビアなどの首脳と電話会談と行うなど緊張緩和に努めています。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年5月12日～2017年6月9日)



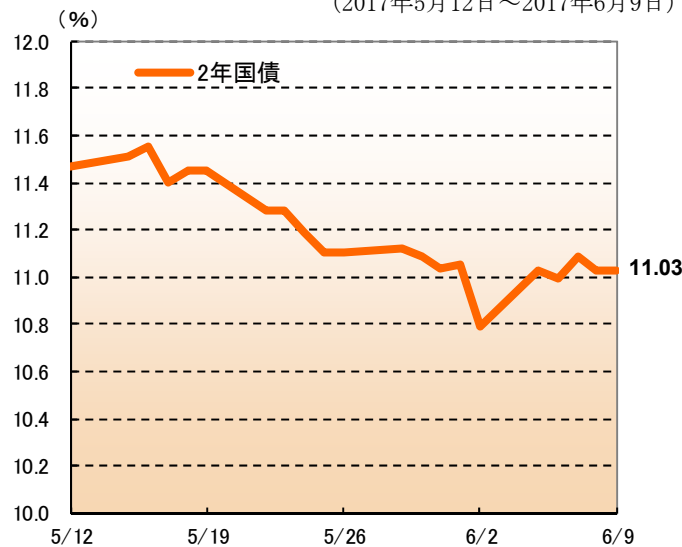
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は15日に金融政策決定会合の開催が予定されています。事前の市場予想では、現在の金融政策が維持される見込みとなっています。鈍化の兆しが見えたものの、依然として2桁台のインフレとなっている現状では、エルドアン大統領の求める利下げなどの対応は難しいと考えます。またカタールを中心とした、中東地域での地政学リスクの高まりなどには注意が必要と考えます。

【トルコ 金利推移】

(2017年5月12日～2017年6月9日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management